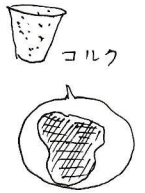


細胞の発見と細胞説

細胞は生物の構造上の基本単位である。

細胞の
発見

17世紀（フック）は、自作した顕微鏡で植物などを観察していました。
そして、コルクが小さな部屋のように見えたことから、細胞壁で囲まれた小部屋を細胞（cell）と呼んだ。



その後 19世紀になり、顕微鏡の改良で倍率が上がったことや、解剖学で組織の染色技術が発展

核などが観察された。

- （シュライデン）… 植物について
 - （シュワン）… 動物について
- それぞれ、小さな細胞が集まってできているという細胞説を唱えた。



さらに（ミルヒョー）は細胞の分裂を観察し、

『すべての細胞は細胞から生じる』ということ提唱し、

細胞説は定着していきました。